



倉又 稔  
議員

### 全国学力テストについて

#### 質問

今年度の全国学力テストの結果が昨年8月に公表され、新潟県は、小学6年生が全科目で全国平均以上であったのに対し、中学3年生では全国

平均を上回っていたのが国語Aだけという状況であった。

当市においても、小学6年生では算数Bを除く全ての科目で全国平均を上回っていたものの、中学3年生は全科目が全国平均を下回っていた。これは大きな課題と考えるが、学力低下が子どもたちに

及ぼす影響や、対応状況について伺う。  
また、学校規模により、児童・生徒が本来持っている能力には影響があると考えられるか。

#### 教育長答弁

学力の低下は、子どもたちの学習の達成感や学習意欲にも大きく関係するものであり、その後の学習や進路にも大きな影響を与えるものと考えている。

全国学力テストの当市の結果について、小学校では、全国平均を上回っていることか



立一 田中  
議員

### 歴史、文化の保存と活用について

#### 質問

#### 歴史、文化の保存と活用について

江戸時代から明治期にかけて活躍した北前船は、文化面でも日本各地に大きな影響を与えた。近年、その文化を地

域づくりに活用する動きもある中、当市における北前船に関する調査、資料収集等の現状、課題について伺う。

また、東西文化の境界、融合地点である当市は、方言についても市内の西部と東部で違いが多く見受けられる。方言の消失が日本各地で進む

中、文化庁は「地域の宝」として、その調査に力を入れたところであるが、当市における調査、研究の現状はどうか。

#### 教育長答弁

市内の北前船関連の古文書等については、新潟県立文書館や新潟大学と協力して所在を確認し、その目録を作成している。こうした資料は散逸や保存が課題であるが、できるだけ公開、活用していきたいと考えている。

方言について、当地は「方言調査の聖地」とも呼ばれる

ら、概ね十分な学力が身につけているものと考えており、これからも個々に応じた指導に努めていきたい。

一方、中学校では、全国平均を下回っているように、入学後の学力の伸び悩みが見受けられる。そのため、各校で結果を分析し、課題の解決に取り組んでいる。

なお、学校規模と児童生徒が本来持っている能力とは、関係ないものと考えている。実際、今回の学力調査の結果においても、当市の学校規模と学力との関係性は認められなかった。

など、これまでも国立国語研究所や大学等の調査が実施されてきており、大学教授らがまとめた『糸魚川言語地図』は市民図書館で公開している。とりわけ特徴的な方言は、これまでも方言番付表やジオパーク関連冊子に利用しており、大いに活用していきたいと考えている。



### 庁舎等の使用開放について

#### 質問

市民会館や各地区施設の耐震改修等に伴い、その間の利用者の利便を図るため、庁舎1階のホールの開放が行われているが、その使用基準等は。

#### 市長答弁

庁舎1階の市民ホールは市の業務に支障のない範囲で利用いただくこととしており、使用基準や減免基準等は市民会館及び地区公民館に準じて取り扱うこととしている。

### 生産調整(減反政策)見直しについて

#### 質問

国の進める減反廃止、補助金削減の動きを市はどう捉えているか。

#### 市長答弁

米の生産調整は、米の価格を維持する役割を果たしてきたものと認識している。当市の農業は水稲が大半を占めており、補助金の削減は農家の収入に直接影響を及ぼすことになる懸念している。